

令和7年度 身近な文化芸術活動の場や機能に 関するアンケート調査結果

相模原市
市民局 文化振興課

<調査概要>

【目的】

第3次さがみはら文化芸術振興プラン改定版(以下、「プラン」という。)に定める「身近な地域で文化的な活動や創造・交流ができる新たな機能・場の設置の検討」について、市民等から意見聴取を行い今後の施策展開の参考とするもの。

まずは、「イメージ調査」として、プラン(市民アンケート結果、具体的な取組等)に定める「文化的な活動や創造・交流ができる機能・場」のイメージやニーズについて、幅広く自由な形で意見を聴取した。

【調査の設計】

(1)調査方法

LOGOフォームによるWEBアンケート

(2)調査期間

令和7年4月25日(金)から5月25日(日)まで

(3)周知方法

広報さがみはら(5/1号)、公民館や文化施設等への配架、市長公式X、公式LINE等のSNSを活用

【回答数】 419件

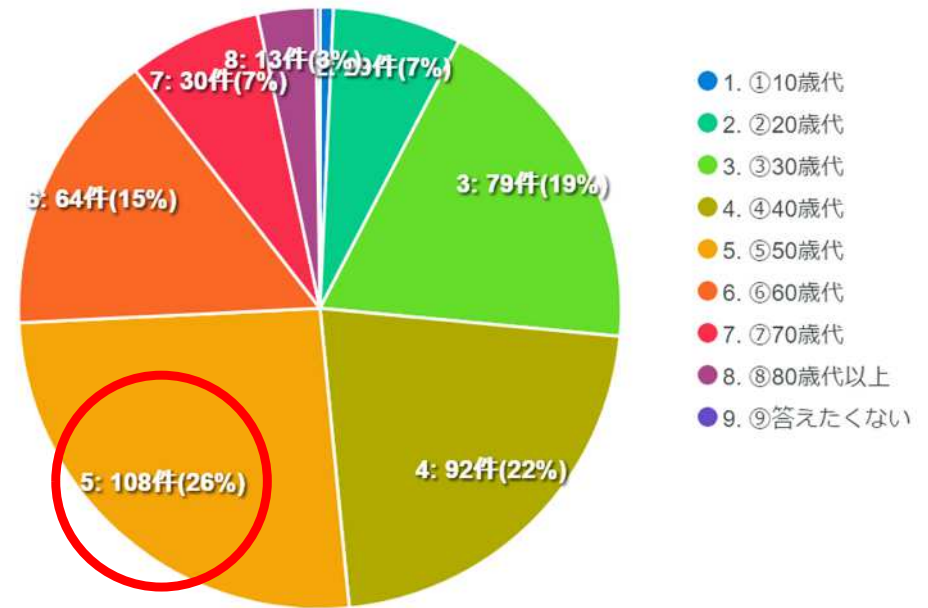


アンケート調査チラシ

<調査結果>

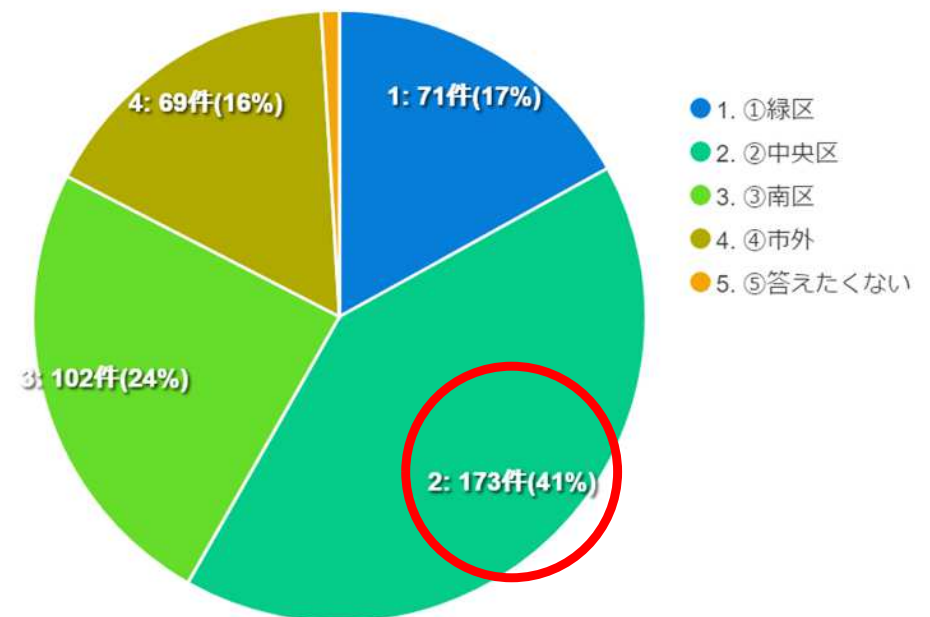
F1:年齢を教えてください。(○は1つだけ)

➡「50歳代」が**26%**と最も多く、
次いで「40歳代」が**22%**となっている。



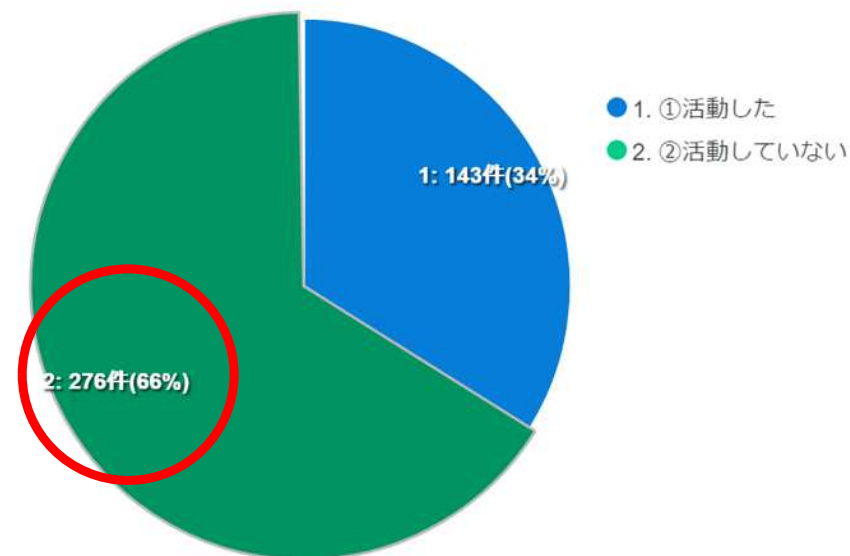
F2:お住まいの区はどこですか。(○は1つだけ)

➡「中央区」が**41%**と最も多く、次いで
「南区」が**24%**となっている。



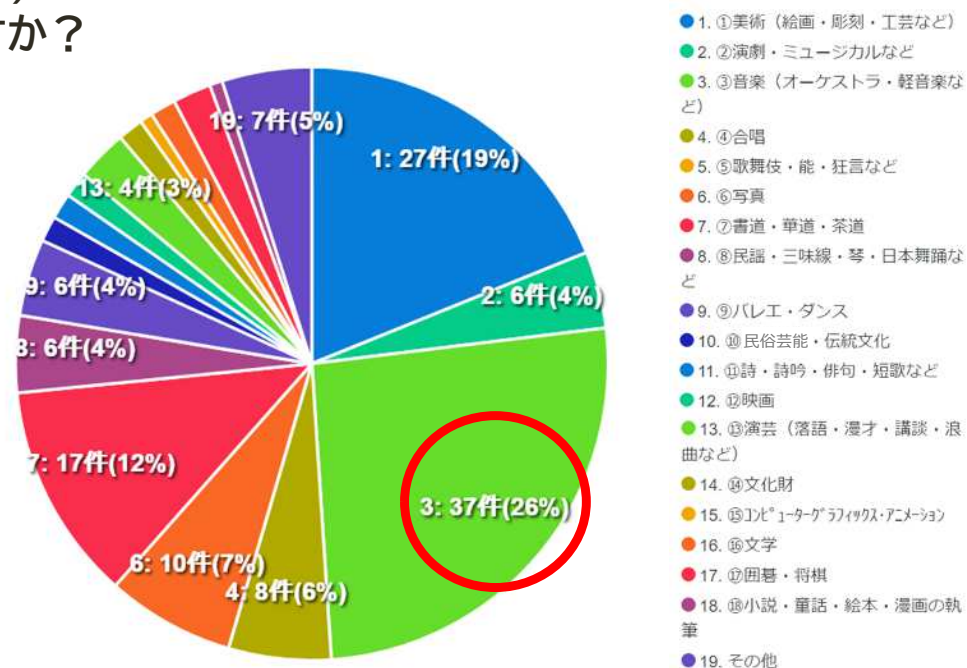
Q1:ここ1年間で、文化的な活動(鑑賞を除く)を行いましたか？(○は1つだけ)

➡「活動していない」が**66%**、「活動している」が**34%**となっている。



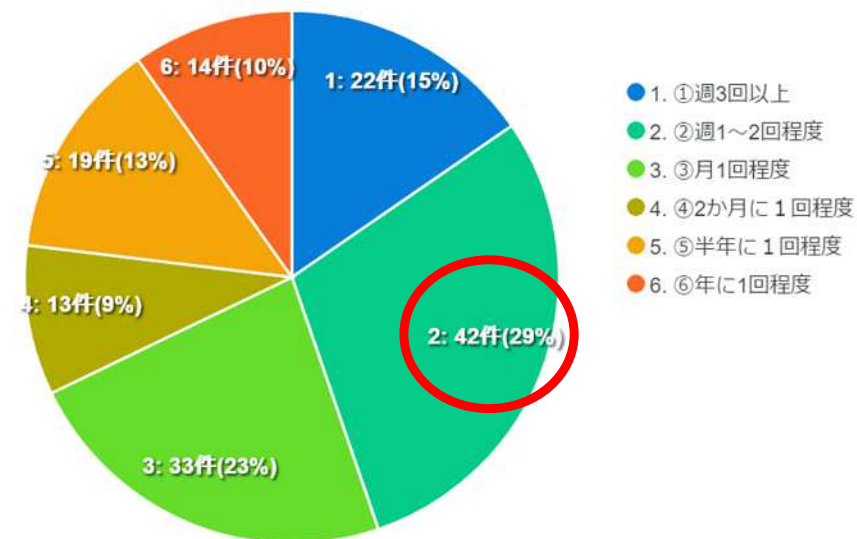
Q2:(Q1で「活動した」と回答した人に伺います)
主たる活動した分野はどのような分野ですか？
(○は1つだけ)

➡「音楽(オーケストラ・軽音楽など)」が**26%**と最も多く、次いで「美術(絵画・彫刻・工芸など)」が**19%**となっている。



Q3:(Q1で「活動した」と回答した人に伺います)
どのくらいの頻度で活動していますか？(○は1つだけ)

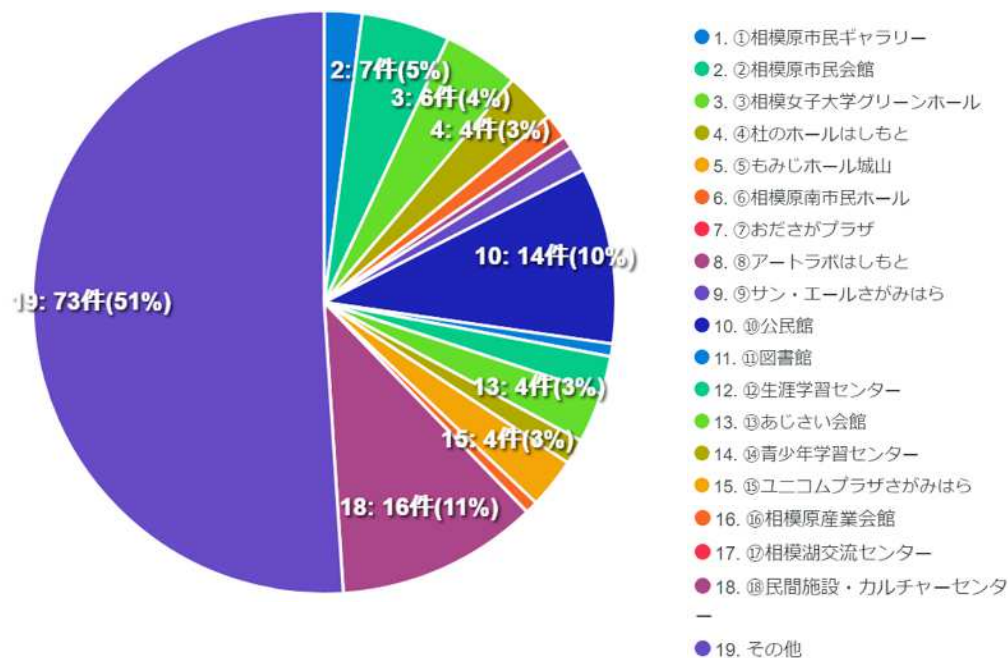
⇒「週1～2回程度」が**29%**で最も多く、次いで「月1回程度」が**23%**となっている。



Q4:(Q1で「活動した」と回答した人に伺います)
主たる活動場所はどこですか？(○は1つだけ)

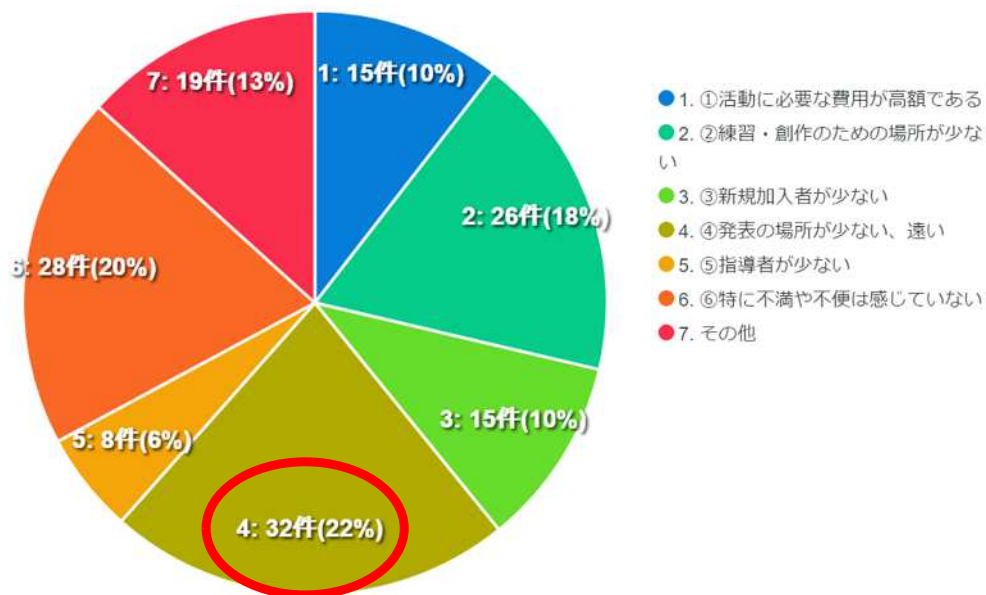
⇒「その他」が**51%**で最も多く、次いで「民間施設・カルチャーセンター」が**11%**となっている。

⇒「その他」の内訳は、半数以上が「自宅」または「市外」となっている。



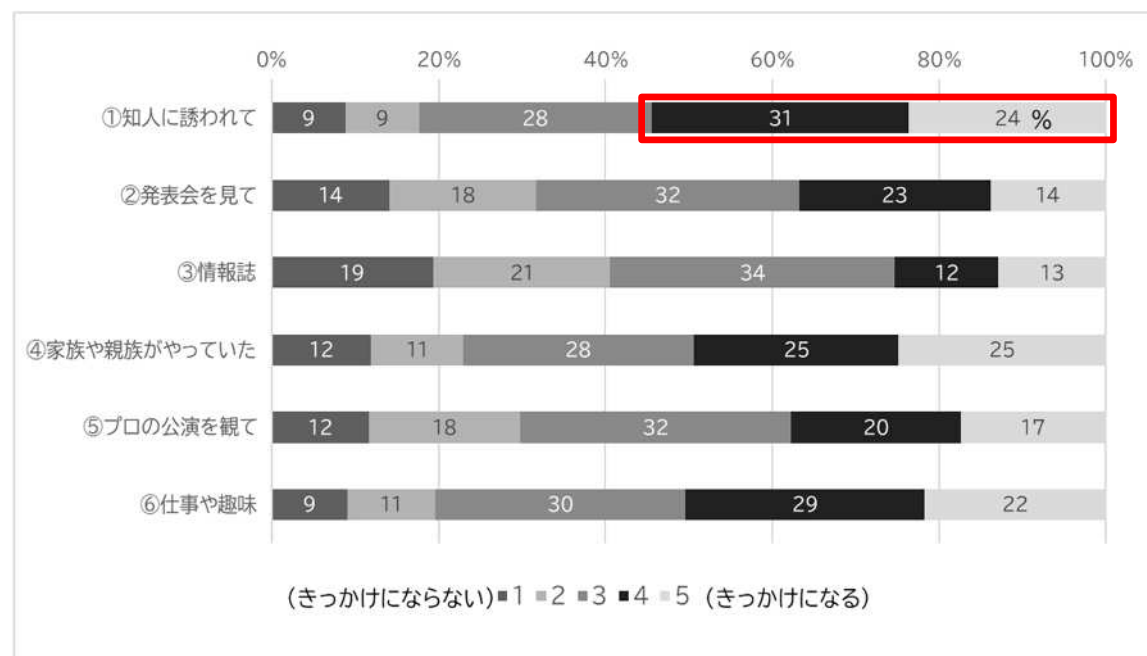
Q5:(Q1で「活動した」と回答した人に伺います)
地域で文化的な活動を行うに当たり、不満や不便を感じていることはありますか？(○は1つだけ)

➡「発表の場所が少ない、遠い」が**22%**で最も多く、次いで「特に不満や不便は感じていない」が**20%**となっている。



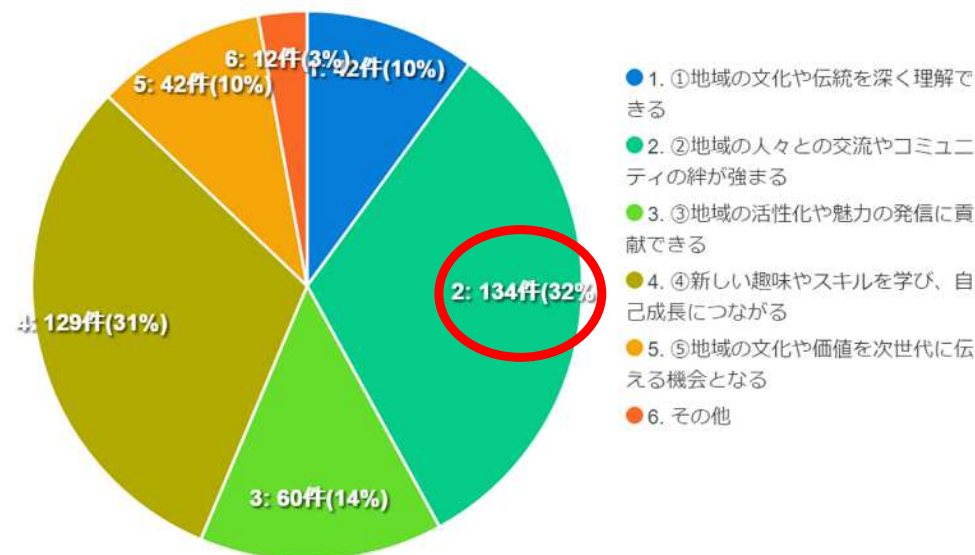
Q6:あなたが文化活動を始めるとした場合、次の事由は始めるきっかけにどのくらいなりますか？

➡「知人に誘われて」が**55%**で最も多く、次いで「仕事・趣味」が**51%**、「家族や親族がやっていた」が**50%**となっている。



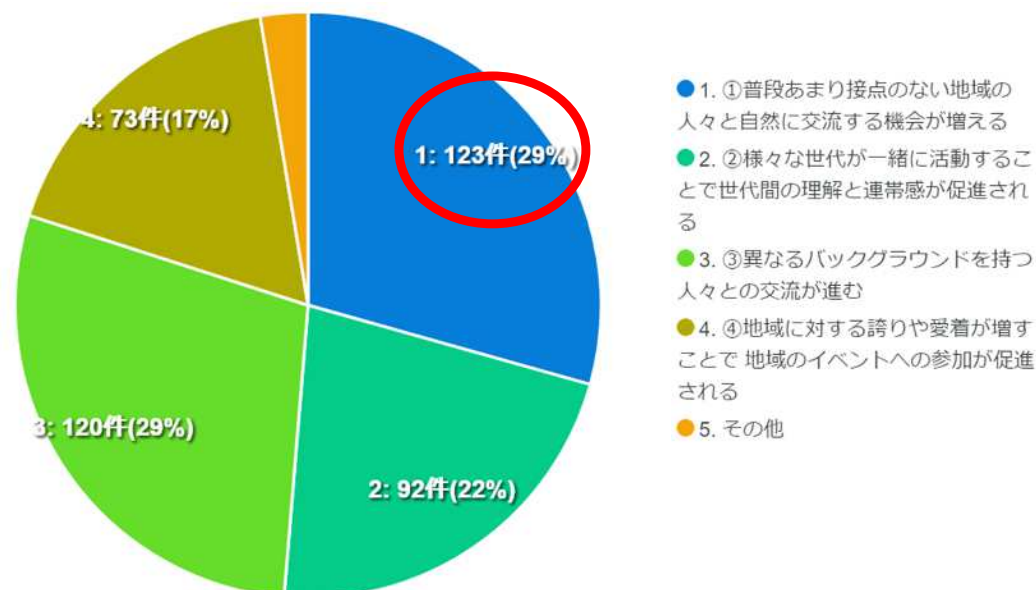
Q7:あなたは、身近な地域で文化的な活動を行うことの良さや効果はどのようなことと考えますか？
(○は1つだけ)

⇒「地域の人々との交流やコミュニティの絆が強まる」が**32%**で最も多く、次いで「新しい趣味やスキルを学び、自己成長につながる」が**31%**となっている。



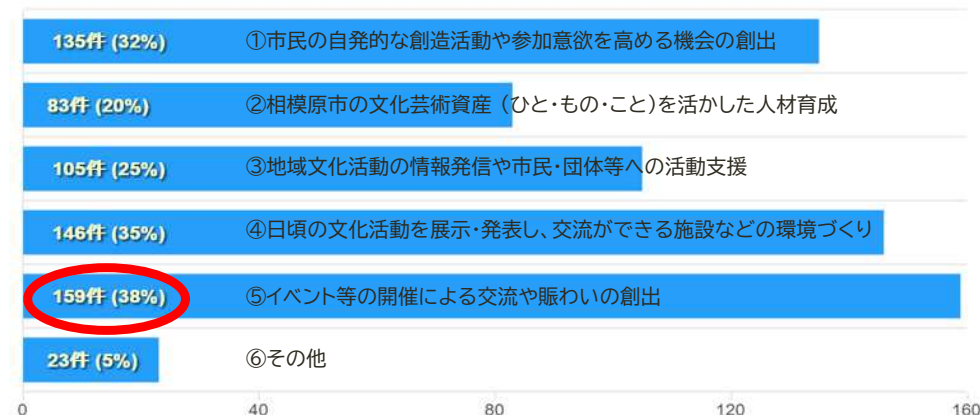
Q8:身近な地域で文化芸術活動を行うことでどのような交流が促進されると思いますか？
(○は1つだけ)

⇒「普段あまり接点のない地域の人々と自然に交流する機会が増える」が**29%**で最も多く、次いで「異なるバックグラウンドを持つ人々との交流が進む」が**29%**となっている。



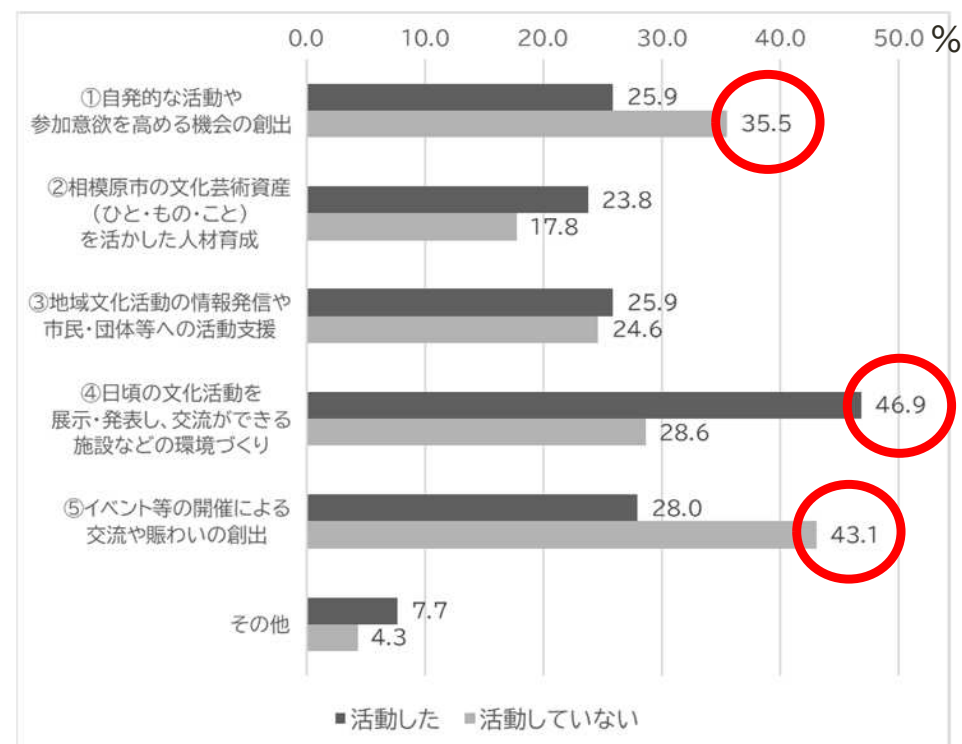
Q9:身近な地域で文化的な活動や創造・交流ができる新たな機能・場を設置するにあたって、特に重要だと思うことは次のうちどれですか。(〇は2つまで)

➡「イベント等の開催による交流や賑わいの創出」が**38%**で最も多く、次いで「日頃の文化活動を展示・発表し、交流ができる施設などの環境づくり」が**35%**となっている。



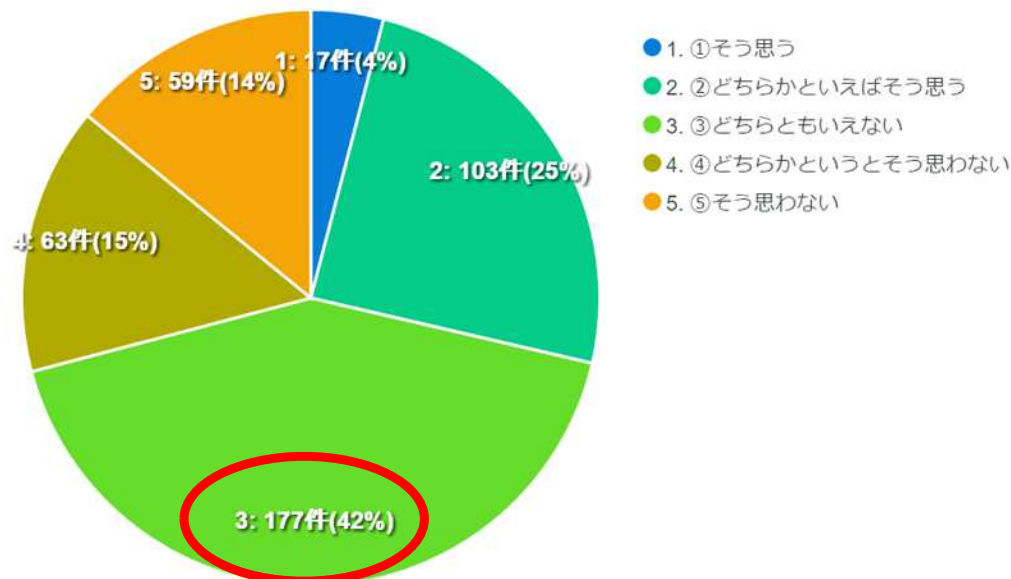
《活動経歴別傾向》

➡Q1で『活動した』と回答した人は「施設などの環境づくり」が最も多く、『活動していない』と回答した人は「イベント等による交流や賑わいの創出」、
「自発的な活動や機会の創出」が多くなっている。



Q10:相模原市は、文化や芸術に触れたり参加したりする機会に恵まれていると感じますか？
(○は1つだけ)

- ➡「どちらともいえない」が**42%**で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が**25%**となっている。
- ➡“そう思う”(「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計)が**29%**、“そう思わない”(「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計)が**29%**



Q11:Q10でそう思った理由をご自由にご記入ください。

➡『そう思う』の理由

- ・アートラボはしもと、**sos**(スーパーオープンスタジオ)、藤野芸術の村、芸術・アーティストと親和性の高い自然資源があり、良い環境だと思っています。
- ・相模原市は規模に関わらずイベントが多い印象です。行政や地元の方々の協力、発信力などもとても強く感じます。

➡『そう思わない』の理由

- ・何をしているか知らないなので機会があるとはいえない。参加しやすい環境づくりが必要と思います。
- ・相模原市は面積が広く、地域(区)ごとに物理的な距離があるにも関わらず、それぞれの地域には一つの分野(美術や音楽など)に関連した場しか設けられていないため。